

■ 芦別市と星槎国際高等学校本部校が国土交通大臣賞を受賞

芦別市と星槎国際高等学校本部校は、下水道の効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組として認められた事例が表彰される、広報・教育部門において、平成 30 年度（第 11 回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」を受賞しました。

循環のみち下水道賞について

循環のみち下水道賞は、平成 20 年度に創設された国土交通大臣表彰で、健全な水環境、資源・エネルギー環境を生み出す 21 世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組に対し表彰されるものであり、優れた事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えるとともに、他の多くの団体等でも同じ取組が行われ、全国的に「循環のみち下水道」が実現することを目指しているものです。

受賞案件の概要

星槎国際高等学校本部校の生徒による、星座マンホールに着目した地域活性化策の提言を契機に、昨年 25 周年を迎えた下水道事業を PR するため、記念バッチやマンホールマップの作成、市職員による授業など、行政と高校がコラボした取り組みが評価され、広報・教育部門において表彰されました。

9 月 10 日、国土交通省（東京都）において行われた表彰式では、本市と高校を代表し、生徒会副会長の田中結衣さんが石井国土交通大臣から賞状を受け取り、取組内容の発表を行いました。

